

平成22年4月期 第2四半期決算短信

平成21年12月3日

上場会社名 株式会社 アインファーマシーズ

上場取引所 東

コード番号 9627 URL <http://www.aini.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 喜一

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 川井 淳一

四半期報告書提出予定日 平成21年12月15日

TEL 011-783-0189

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年4月期第2四半期の連結業績(平成21年5月1日～平成21年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年4月期第2四半期	59,740	5.1	2,846	31.0	2,762	33.4	1,349	62.5
21年4月期第2四半期	56,859	—	2,172	—	2,070	—	830	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年4月期第2四半期	101.01	100.88
21年4月期第2四半期	68.59	68.39

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年4月期第2四半期	65,360	19,655	30.0	1,391.01
21年4月期	62,032	16,109	25.9	1,252.54

(参考) 自己資本 22年4月期第2四半期 19,614百万円 21年4月期 16,071百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年4月期	—	—	—	30.00	30.00
22年4月期	—	—	—	—	—
22年4月期 (予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年4月期の連結業績予想(平成21年5月1日～平成22年4月30日)

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	127,000	10.1	6,150	16.1	6,000	19.0	2,900	36.3	211.24

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
詳細は、5ページ[定性的情報・財務諸表等]4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年4月期第2四半期	14,104,106株	21年4月期	12,834,106株
② 期末自己株式数	22年4月期第2四半期	2,881株	21年4月期	2,730株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年4月期第2四半期	13,355,903株	21年4月期第2四半期	12,100,359株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成22年4月期の業績予想については、平成21年9月1日に公表しました予想値を修正しております。業績予想に関する事項については、4ページ[定性的情報・財務諸表等]3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
- 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想数値と異なる結果となる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成21年5月1日～平成21年10月31日)におけるわが国の経済は、輸出、個人消費等一部に持ち直しの動きが見られるものの、雇用情勢においては一層の悪化が続いており、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような経済情勢のもと、当社グループは、調剤薬局及び都市型ドラッグストアの出店開発を強力に推進し、グループ内のコスト管理を徹底することにより、事業規模及び収益拡大に努めてまいりました。

また、平成21年8月には総額24億円の公募増資を実施し、さらなる拡大に向けた設備投資資金を市場調達するとともに、財務体質の強化を実現いたしました。

当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高が597億4千万円(前年同期比5.1%増)、経常利益は27億6千2百万円(同33.4%増)、四半期純利益は13億4千9百万円(同62.5%増)となり、いずれも順調に推移いたしました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

(医薬事業)

医薬事業は、院外処方箋における処方日数の長期化が進行しており、処方箋単価は依然として上昇傾向にあります。一方で調剤薬局の来局患者数は新店・既存店とも堅調に推移しており、また、グループ全体として、薬局運営、管理部門に対するコスト改善を推進した結果、売上・利益とも前年を上回る水準で進捗しております。

グループ体制の機動性及び効率性向上のため、グループ会社間における組織再編成を推進し、平成21年8月1日付で株式会社インメディカルシステムズ(東京都新宿区:存続会社)と株式会社リジョイス(東京都新宿区:消滅会社)、平成21年10月1日付で、株式会社アイン東海(名古屋市中区:存続会社)と株式会社リジョイス薬局(京都市中京区:消滅会社)がそれぞれ合併いたしました。(合併と同時に株式会社アイン東海は株式会社アインメディオに商号変更)

薬局設備においては、自動薬剤ピッキング装置(包装薬剤の全自動調剤を行う装置の総称)を複数店舗に試験導入し、オートメーション化による調剤業務の安全性向上及び効率化等全般的な効果検証をしております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、528億9千1百万円(前年同期比6.0%増)、営業利益は36億8千2百万円(同31.9%増)と増収増益となりました。

同期間の出店状況は、グループ全体で合計6店舗の出店を実施し、1店舗の営業を休止したことにより、当社グループにおける移動調剤薬局総数は380店舗となりました。

(物販事業)

物販事業は、小売業における消費の低迷とともに、制度化化粧品の高価格下落及び販売不振が主な要因として、既存店の売上・利益は前年同四半期に対し下回る結果となりました。

その一方で、当社の主力商材である専門的なコスメティック商品(一般化粧品)については、前年を上回る販売実績となっており、引き続きMD強化を図るとともに、都市型ドラッグストアの出店開発を推進することにより、営業ベースでの黒字化を目指してまいります。

また、アインズ&トルペのコンセプトを参照したイトーヨーカ堂内のドラッグストア「セブン美のガーデン」の共同開発、アインズ&トルペ広小路プレイス店(名古屋市中区)におけるセブン-イレブン併設型店舗への改装、西武池袋本店(東京都豊島区)への出店合意(アインズ&トルペ池袋店/平成21年11月開店)等株式会社セブン&アイ・ホールディングスグループとの提携に基づくさまざまな取組みが進捗いたしました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、67億1千1百万円(前年同期比2.0%減)、営業損失は2億3千8百万円(前年同期は1億9百万円の営業損失)となりました。

同期間の出店状況は、札幌市中央区に1店舗の出店を実施し、小型店舗1店舗を閉店したことによりドラッグストア店舗総数は46店舗となりました。

(その他の事業)

その他の事業における売上高は1億3千8百万円、営業損失は3千5百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 総資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末より33億2千7百万円増の653億6千万円となりました。主な要因は、公募増資に伴う現預金の増加、事業規模の拡大による受取手形及び売掛金、たな卸資産の増加、株式会社セブンヘルスカケアへの出資を含む投資有価証券の取得等によるものであります。

負債の残高は、2億1千8百万円減の457億5百万円となりました。主な要因は、有利子負債の減少によるものであります。有利子負債の残高は、19億5千8百万円減少となる167億2千4百万円となりました。

純資産の残高は、35億4千6百万円増の196億5千5百万円となりました。主要な要因は、公募増資による資本金及び資本準備金の各12億3百万円増加に加え、当第2四半期連結累計期間における純利益の反映によるものです。この結果、自己資本比率は4.1ポイント改善となる30.0%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ29億6千4百万円増の121億9千8百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益26億5千5百万円、仕入債務の増加額9億7千9百万円を主な収入要因として、また、法人税額の支払12億4千9百万円を主要な支出要因として、42億9千8百万円の収入（前年同期は8億8千9百万円の支出）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出6億5千3百万円、投資有価証券の取得による支出3億8千9百万円、関係会社株式の取得による支出2億7千万円、貸付けによる支出5億6千万円を主な要因として、14億6百万円の支出（前年同期比10.7%増）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の借入れと返済の差額が19億5千8百万円の返済となり、新株予約権の行使及び平成21年8月の公募増資に伴う株式の発行による収入24億8千4百万円、また、配当金の支払額3億8千4百万円を主な要因として、7千3百万円の収入（同97.3%減）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、直前公表の通期連結業績予想に対し、当第2四半期連結累計期間までの実績及び、医薬事業におけるコスト削減効果並びに出店時期の変更可能性、物販事業における業績回復の遅れ、公募増資に伴う1株当たり当期純利益の影響等を総合的に勘案し、通期連結業績予想を修正いたしました。

直前公表の通期連結業績数値との差異は以下のとおりであります。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	円 銭
前回発表予想(A)	127,000	6,050	5,850	2,800	203.95
今回修正予想(B)	127,000	6,150	6,000	2,900	211.24
増減額(B)－(A)	—	100	150	100	
増減率(%)	—	1.7	2.6	3.6	
前期実績	115,387	5,296	5,041	2,127	170.74

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 固定資産の減価償却費の算定方法

当連結会計年度の予算に基づく年間償却予定額を期間按分し、期中の取得、売却又は除却の実績を調整する方法により算定しております。

2. 繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められたため、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用しております。

3. 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法により算定しております。

4. 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年10月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,198,796	9,234,052
受取手形及び売掛金	9,328,917	8,560,181
商品	6,344,464	5,832,459
貯蔵品	96,149	96,387
繰延税金資産	625,151	631,776
短期貸付金	954,475	613,327
未収入金	1,173,006	2,409,241
その他	576,842	805,376
貸倒引当金	△19,930	△12,059
流動資産合計	31,277,872	28,170,743
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,943,281	5,987,520
土地	5,011,747	4,958,767
その他(純額)	1,374,276	1,292,151
有形固定資産合計	12,329,305	12,238,439
無形固定資産		
のれん	12,427,284	12,835,388
その他	752,783	657,926
無形固定資産合計	13,180,068	13,493,314
投資その他の資産		
投資有価証券	2,766,589	2,057,061
繰延税金資産	839,860	892,856
敷金及び保証金	4,314,769	4,496,234
その他	901,422	952,859
貸倒引当金	△266,187	△268,587
投資その他の資産合計	8,556,454	8,130,424
固定資産合計	34,065,828	33,862,179
繰延資産		
株式交付費	17,051	—
繰延資産合計	17,051	—
資産合計	65,360,753	62,032,922

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年10月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	19,692,494	18,712,606
短期借入金	6,805,620	7,576,357
1年内償還予定の社債	84,000	140,000
未払法人税等	1,308,222	1,263,593
預り金	3,423,406	2,841,871
賞与引当金	923,727	800,017
役員賞与引当金	30,805	43,114
ポイント引当金	281,232	273,137
その他	1,604,239	1,751,482
流動負債合計	34,153,748	33,402,179
固定負債		
長期借入金	9,834,964	10,966,271
退職給付引当金	928,640	863,110
その他	787,794	692,253
固定負債合計	11,551,399	12,521,635
負債合計	45,705,147	45,923,815
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,308,456	5,057,046
資本剰余金	5,498,450	4,247,040
利益剰余金	8,092,164	7,127,988
自己株式	△4,291	△3,912
株主資本合計	19,894,780	16,428,163
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△279,817	△356,413
評価・換算差額等合計	△279,817	△356,413
少数株主持分	40,642	37,357
純資産合計	19,655,605	16,109,107
負債純資産合計	65,360,753	62,032,922

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年5月1日 至平成20年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年10月31日)
売上高	56,859,193	59,740,895
売上原価	49,701,350	51,664,935
売上総利益	7,157,843	8,075,960
販売費及び一般管理費	4,985,565	5,229,677
営業利益	2,172,278	2,846,283
営業外収益		
受取利息	17,207	22,820
受取配当金	12,036	13,653
受取手数料	26,731	41,275
不動産賃貸料	28,748	31,923
業務受託料	16,605	21,287
その他	38,042	41,291
営業外収益合計	139,371	172,252
営業外費用		
支払利息	191,396	153,806
債権売却損	27,954	41,723
不動産賃貸費用	6,199	15,614
その他	15,471	44,795
営業外費用合計	241,022	255,940
経常利益	2,070,628	2,762,596
特別利益		
投資有価証券売却益	582	52,381
固定資産売却益	2,452	—
貸倒引当金戻入額	—	2,400
その他	7,731	—
特別利益合計	10,766	54,781
特別損失		
固定資産除売却損	9,320	29,885
投資有価証券評価損	179,747	44,521
減損損失	36,967	54,910
その他	51,129	32,805
特別損失合計	277,163	162,123
税金等調整前四半期純利益	1,804,230	2,655,253
法人税等	973,475	1,302,851
少数株主利益	742	3,285
四半期純利益	830,012	1,349,117

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年5月1日 至平成20年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,804,230	2,655,253
減価償却費	526,697	562,226
減損損失	36,967	54,910
のれん償却額	390,623	433,303
投資有価証券評価損益(△は益)	179,747	44,521
退職給付引当金の増減額(△は減少)	77,009	65,530
賞与引当金の増減額(△は減少)	153,897	123,710
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△17,765	△12,309
受取利息及び受取配当金	△29,243	△36,474
支払利息	191,396	153,806
固定資産除売却損益(△は益)	6,867	29,885
売上債権の増減額(△は増加)	△2,225,804	△768,735
たな卸資産の増減額(△は増加)	△377,431	△511,767
仕入債務の増減額(△は減少)	△417,927	979,887
その他	234,469	1,893,889
小計	533,734	5,667,639
利息及び配当金の受取額	27,892	34,771
利息の支払額	△191,184	△154,218
法人税等の支払額	△1,260,327	△1,249,946
営業活動によるキャッシュ・フロー	△889,883	4,298,246
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△862,089	△653,639
有形及び無形固定資産の売却による収入	7,152	3,674
投資有価証券の取得による支出	△347,580	△389,783
投資有価証券の売却による収入	1,264	67,544
関係会社株式の取得による支出	△179,675	△270,000
貸付けによる支出	△4,592	△560,000
貸付金の回収による収入	78,074	226,458
定期預金の預入による支出	△24	—
定期預金の払戻による収入	120,024	—
その他	△83,685	169,156
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,271,131	△1,406,589

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年5月1日 至 平成20年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成21年10月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	5,591,032	1,542,307
短期借入金の返済による支出	△6,598,000	△2,632,317
長期借入れによる収入	4,000,000	1,150,000
長期借入金の返済による支出	△1,458,348	△1,962,044
社債の償還による支出	△186,000	△56,000
株式の発行による収入	1,654,684	2,484,765
リース債務の返済による支出	△14,396	△68,178
自己株式の取得による支出	△309	△378
配当金の支払額	△227,220	△384,941
少数株主への配当金の支払額	△19,730	△126
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,741,712	73,086
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	580,696	2,964,743
現金及び現金同等物の期首残高	4,195,144	9,234,052
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,775,841	12,198,796

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年5月1日 至 平成20年10月31日)

	医薬事業	物販事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	49,877,594	6,849,781	131,817	56,859,193	—	56,859,193
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	3,000	9,373	12,373	△12,373	—
計	49,877,594	6,852,781	141,191	56,871,567	△12,373	56,859,193
営業利益(又は営業損失(△))	2,792,606	△109,543	△36,477	2,646,584	△474,306	2,172,278

当第2四半期連結累計期間(自平成21年5月1日 至 平成21年10月31日)

	医薬事業	物販事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	52,891,322	6,711,249	138,323	59,740,895	—	59,740,895
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	3,000	6,613	9,613	△9,613	—
計	52,891,322	6,714,249	144,937	59,750,509	△9,613	59,740,895
営業利益(又は営業損失(△))	3,682,825	△238,900	△35,385	3,408,539	△562,256	2,846,283

(注) 1. 事業区分の方法

内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分に属する主な内容は、次のとおりであります。

医薬事業……………調剤薬局の経営、フランチャイズ業、人材派遣・紹介業及びコンサルティング業、
医薬品の販売、後発医薬品(ジェネリック医薬品)の販売

物販事業……………医薬品、化粧品、家庭雑貨等の販売、フランチャイズ業、ショッピングセンター開設
に係るコンサルタント、薬局の経営

その他の事業……………不動産賃貸業等

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間において、在外連結子会社及び在外支店がないため該当事項はありません。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間において、海外での売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、自己資本の充実・財務基盤の強化とともに、新規出店に係る設備投資資金の調達を目的として、平成21年8月に公募増資を実施いたしました。これにより、当第2四半期連結会計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,203百万円増加し、第2四半期連結会計期間末において資本金が6,308百万円、資本剰余金が5,498百万円となっております。

6. その他の情報

該当事項はありません。